

名取市の仮設住宅訪問

埼玉県南越谷阿波踊り しく、元気に力いっぱい
振興会の有志連が22日か 踊ってほしい」と呼びか
ら2日間、宮城県名取市 けた。

の美田園第一仮設住宅を
訪問。住民らに南越谷阿
波踊りを披露した。

同仮設住宅（22棟・1

南越谷阿波踊りはボラ
スグループ（埼玉県越谷
市、中内晃次郎代表）が
長年にわたり支援してお
り、現在では「日本三大
阿波踊り」の一つに数え
られている。

ボラスグループが同仮
設住宅の建設に携わった
ことをきっかけに震災の
翌年の2012年から居
住者との交流がスター
ト。訪問は今年で6回目
を数え、今回は約60人の
メンバーが参加した。

仮設住宅建築後も、住
民の要望に応じて定期的
なメンテナンスを行っ
た上で現地を頻りに訪問し
ている振興会PO連の連
長でもある土屋誠さん
（住宅資材センター事業
部・施工部部長）は「楽
会会長は「毎年、踊りに来

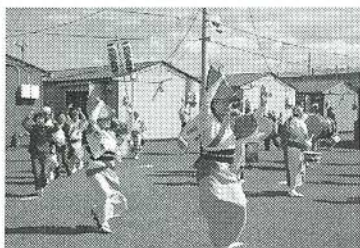
ポラスグループが6回目の交流 被災地で南越谷阿波踊り 居住者も踊りの輪に加わる

ていただき、元気をもら
っています」と述べる
とともに、来年5月には仮
設住宅から退去する住民
が多く、「これからも被
災者の気持ちを汲んでも
らえるありがたい」と
訴えた。

23日には、午前と午後
の2回、仮設住宅内で踊
りを披露。住民たちは手
拍子を交えながら、歓声
をあげた。中には踊り手
たちに促され、踊りの輪
に加わると、独特の笛や
太鼓のリズム合わせて踊
りを楽しむなど交流を深
めた。

今回初めて、踊り見た
という住民は「みんなと
集まっておしゃべりをし
て、踊れたので楽しかつ
た」と笑顔を見せた。

一行は前日の22日に
は、名取市関上の被災地
を訪問。自らも被災した
語り部によって、防災へ
の意識や命の大切さを訴
える話に真剣に聞き入っ
たほか、津波の犠牲者の
冥福を祈った。



「ヤットサー、ヤットヤット」の掛け声とともに威勢良く踊るメンバー。高
橋自治会長の話に熱心に聞き入っていた（下）